

限られた AED・救護スタッフを最適に運用

RESCUE GO

HAWKCAST救護サポート レスキュー・ゴー



NEOSYSTEM
MULTI SPORTS TIMING SYSTEM

ver. 2024-07-07

HAWKCASTとは



HAWKCASTは、1秒間隔の位置を表示する高精度のGPSトラッキングサービスです。
スポーツ大会やイベントで選手の位置情報をリアルタイムで見える化します。
救護サービスへの活用で、限られたAED・救護スタッフの効率的な運営をサポートします。

サービス提供会社

ネオシステム株式会社 <https://www.neo-system.jp>

開発元

N-Sports tracking Lab 合同会社 <https://n-sportstracking-lab.com>

サービス紹介動画

HAWKCAST救護サポート

 <https://www.youtube.com/watch?v=5GOuWOwpRmM>



こんなお悩み解決します



無線や電話では運用が煩雑



GPSを導入しても数分間隔では遅い



現場把握をスピーディーにしたい



ブラウザからクリックのみで要救護
場所が伝えられる



1秒間隔の位置情報更新で、常にリ
アルタイムな情報把握ができる



同時多発しても即時反映され、現場
近くの救護スタッフへ指示できる

RESCUE GO でできること

救助が必要な人と救護する人を迅速に繋がめます



通報する人

1. 発見→通報

監視する人

2. 受信→管理

救護する人

3. 受信→現場急行

通報する人 1.発見→通報



タッチ操作のみで通報できる

(想定される利用者) 選手・大会スタッフ・観客

①症状

簡易トリアージから選択

②場所

スマホから位置情報を自動反映、通路や目印などを記入することも可能

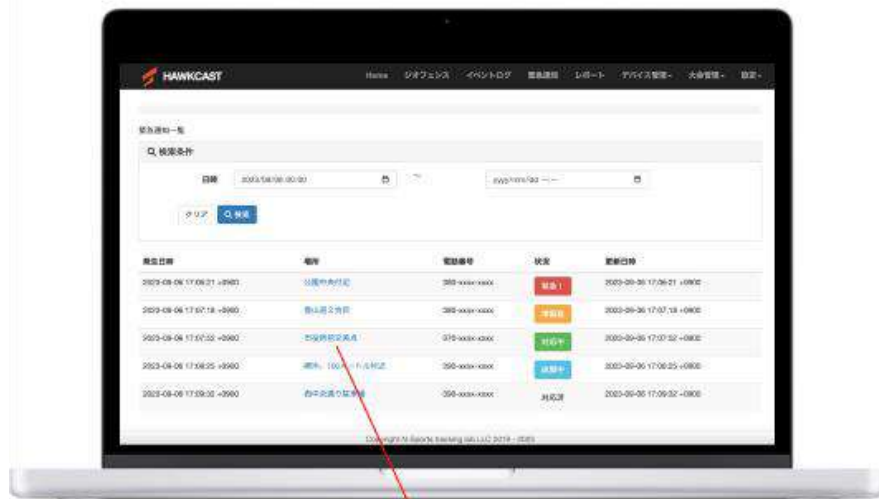
③電話番号

任意で電話番号を通知可能

- 📍 土地勘がなくても通報できる
- 📍 音を気にせずに位置を伝えられる
- 📍 救護スタッフの出動状況を確認できる

通報受信で一覧管理できる

(想定される利用者) 選手・大会スタッフ・観客



①発生日時

受信した日時を表示

②場所

クリックすると通報場所をGoogleMapで表示

③電話番号

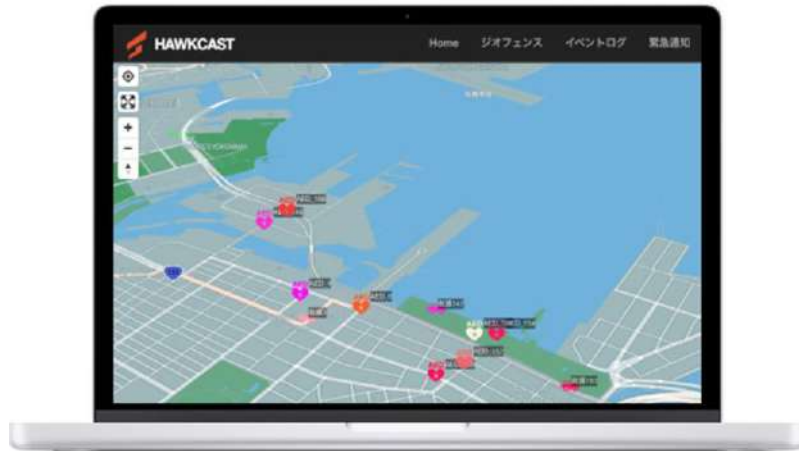
通報者の電話番号を表示

④状況電話番号

緊急度を表示し対応状況に応じてステータス管理

- 📍 同時発生しても複数人で管理対応できる
- 📍 記録簿としても管理できる
- 📍 情報集約で対応判断を迅速化できる

救護する人 2.受信→現場急行



マップ上で位置把握できる

(想定される利用者) 選手・大会スタッフ・観客

①通報者の位置

位置が表示され、クリックで詳細情報も閲覧可能

②救護スタッフの位置

1秒更新で移動の状況を確認

③電話番号

マップ上でも通報者の電話番号を確認可能

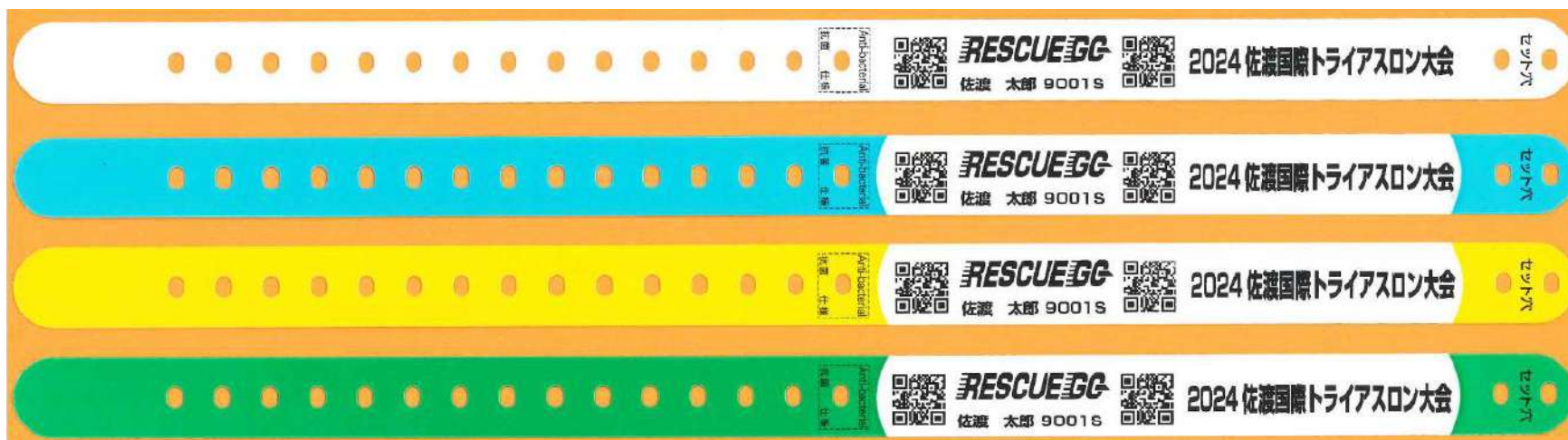
- 📍 同時発生しても複数人で管理対応できる
- 📍 通報者の位置を即時に把握できる
- 📍 救護スタッフの移動状況が見える化できる

運用例) 佐渡国際トライアスロン2024

通報用QRコード

佐渡国際トライアスロン大会における緊急通報用のQRコードは選手の皆様のリストバンドに印刷されています。

救護要請を希望される方は駆け付けたスタッフにリストバンドのQRコードを読み取ってもらってください。



よくある質問

F 国内どこにいても使えますか？

A 本製品は、[docomoのLTE回線を使用](#)しています。LTEサービスエリア内であれば、標高の高い山や海上でもdocomoのサービスエリアマップで「LTE」のエリアですと、どこでも利用可能です。

F 専用のアプリをインストールしなくてははいけませんか？

A いいえ。[アプリをインストール必要はありません。インターネットブラウザでご利用いただけます。](#)通報システムの画面を緊急時にすぐに立ち上げられるよう、事前に、ホーム画面への追加やお気に入り登録されることをおすすめします。イベントでは、選手のゼッケンやスタッフのビブスなどにQRコードを付けて、すぐにアクセスできるようにしておくことをご提案しています。

F 通報者の位置情報以外に何がわかりますか？

A 通報者に「緊急」「準緊急」「対応要」など簡易トリアージを選択いただくことで、負傷者の状況がわかります。通報日時、通報場所、状況、電話番号（通報者任意）を知ることができ、同時多発や複数発生した場合も、状況の把握、履歴の確認が可能です。

F パソコン以外でも管理画面を見ることはできますか？

A 地図を表示するため、パソコンが見やすいですが、[スマホやタブレットでもインターネットが繋がれば、ブラウザを開いてご覧いただけます。](#)

お客様の声



安全性の向上と新しい観戦スタイルの実現

世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会 競技運営部長 河野樹夫 様

トラブル発生時により早く選手の元に駆けつけることができた点で、安全性の向上という面でリアルタイムGPSの良さが発揮されました。トラブル発生時、近くにいるスタッフを無線で呼び、現場に向かってくれと言える、バックアップ体制ができたと思います。特に印象に残っているのは、スイムの時。これまではライフサーバーが目視で確認しているのですが、競技運営本部にいても、無線連絡が入るまでは状況を知ることができなかつたのですが、今回は、システムの情報から異常を察知し、知らせてくれ、私からライフサーバー側に異常信号が出ている選手の確認を依頼するというシーンが何度かありました。



見える化による効率運営

トレイルランニング 企画運営 田中様

トレイルランニングの選手と一緒に走るスイーパーにGPSを装着してもらい、スイーパー陣の位置を把握することができました。今までは、いつ来るか分からなかった最後尾のスイーパーの位置もリアルタイムで分かったので、エイド通過時間が予測できてエイドスタッフも効率よく動くことができました。参加者の中で、スイーパーが固まることなく走ってもらうことで、途中で負傷者が出た時も、いち早く近くにいるスイーパーに救助指示を出すことができました。負傷者とスイーパーが会えたのか、どの経路を通過して下山しているかも本部やその他のスタッフも把握できたので、無線で何度も確認する必要がなく、他の業務に今まで使っていた時間を使うことができました。



迅速な対応に繋がる安心感

ULTRA A70 実行委員会 藤村様

RESCUE GO をスタンバイしていたことで、とにかく安心感がありました。画面を見られる全員が、選手たちの位置や通報情報が分かるので、運営スタッフへの二次伝達が不要になったことも大きかったです。スタッフが同じ情報を同じタイミングで得られることは、時間のロスもなくなり、迅速な対応に繋がりました。今までも大会として救護面やサポート面では態勢を整えていましたが、RESCUE GOを利用していることで、参加者の方に安心感を与えられたと思います。そういったサポートがある大会と謳えると、大会としてもアップグレードできたと感じています。